

# 北海道議會時報

第 14 卷 第 12 号

昭 和 37 年 12 月



北海道議會事務局

----- 第 12 号 目 次 -----

議 会 の 動 き

常 任 委 員 会..... 1

会 合

全国都道府県議会議長会..... 5  
全国都道府県議会離島振興促進協議会..... 6  
畜産振興全国大会..... 6  
全国都道府県議会議事局長会..... 6  
10都道府県議会議事協議会..... 6  
北海道東北6県事務連絡協議会..... 6

資 料

第3回定例道議会の議決を経た条例の公布調べ..... 7  
昭和37年12月20日確定基本選挙人名簿登録人員数調..... 8  
法令に基づく議會議員定数の郡市別選出基準..... 9  
北海道主要政党役員一覧..... 10

11 月 の メ モ

~~~~~  
表紙写真

—— 初冬のニセコ高原 ——

倶知安町提供  
~~~~~

# 議会の動き

第 956号 放射能雨対策の件 (採択)

第 996号 煤煙防止対策の件 (採択)

## 常任委員会

### 総務委員会

○11月21日 午後1時27分、第5委員会室において開議、  
午後1時45分散会、委員長 杉本栄一(自民)

#### 請願、陳情の審査

##### 陳情

第 834号 昭和37年度海上保安庁予算要求中道関係  
重要予算実現に対し協力方要望の件(取  
り下げ)

第 905号 市町村における統計調査事務委託費の予  
算化実現要望の件 (採択)

第 954号 信用金庫を地方公共団体の本金庫として  
存続の件(外7件) (採択)

橋本(清)委員(社)より、厚沢部村町制施行(37.2.1  
施行)の陳情に対する道の考え方について質疑、地方  
課長より答弁、本陳情書の取り扱いについては理事会  
で協議することに決定。

##### 一般議事

① 林副委員長(自民)、井口委員(社)より、暫定手当支  
給地域級地区区分の引き上げに関する中央折衝の経過に  
ついて報告があり、異議なく報告を了承。

② 総務部次長(高元)より、辺地事業債の内容について  
説明を聴取。

③ 委員長より、本日の議事はこの程度にとどめ、明22  
日午前10時より委員会を開会することについて諮り、  
異議なくそのことに決定。

## 厚生委員会

○11月1日 午前10時58分、第1委員会室において開議、午  
前11時20分散会、委員長 原田伊曾八(自民)

#### 請願、陳情の審査

##### 請願

第 621号 炭鉱地帯及び僻地における医師の充実並  
びに医療体制確立の件 (採択)

##### 陳情

○11月19日 午後1時45分、第1委員会室において協議会  
を開議、午後1時59分散会、委員長 原田伊  
曾八(自民)

① 委員長より、ガンセンター設置及び明年度厚生関係  
予算折衝のため田中委員(自民)を11月17日より23日ま  
で7日間東京都に派遣した旨を報告し、これを了承。

② 委員長より、ガンセンター設置及び明年度厚生関係  
予算折衝のため11月25日より12月1日まで7日間委員  
長及び自民党1名、社会党2名の委員を中央に派遣す  
ることを申し合せ、ついで次回委員会の開会について  
は委員長一任とすることとした。

## 商工労働委員会

○11月12日 午前11時25分、第5委員会室において開議、  
午後零時56分散会、委員長 伊藤作一(自民)

##### 一般議事

① 工業課長より、先の委員会で答弁保留となっていた  
重油ボイラー設置に関する問題について答弁があつた  
後、

官沢委員(社)より、カロリー積算は何を基準にして  
決められたか、重油が石炭に比して経済的に優れていると  
いうことを無条件に認める場合産炭地振興の主目的が  
薄れるのではないかと、

村本委員(社)より、重油ボイラーの使用を申請して  
許可にならなかつたものは何件あるか、セメントロー  
タリキルンは規制法の対象に入らないのか、道が石炭  
の利用について要請しているがなお重油に切り換えて  
いこうとする理由は何かと、

等について質疑、意見及び要望があり、商工部長、  
工業課長より答弁。

② 観光課長より、先の委員会における榎委員(社)の質  
疑に対する答弁があつた後、

榎委員(社)より、航空機を利用して来道する観光客  
の数はどうなっているか、外人客の受入れについてど  
のような対策をとっているか、道東北開発公庫の融資  
対象の枠拡大と条件緩和をを要請すべきでないかと、

村本委員(社)より、観光施設に対する融資について  
陸運局の推せんは基準があるのか、本年はどれくらい  
融資の申請がなされたか、国際観光ホテルというのは  
どのようなものを指すのか、国際観光ホテル以外は開  
発公庫の融資対象にならないのかと、

等について質疑、意見及び要望があり、商工部長、  
観光課長より答弁。

- ③ 村本委員(社)より、社内貯金が盛んに行なわれているが、これに対する保証措置があるか、日本セメント上磯工場における石炭の経済性に関する資料を提出してもらいたい、

宮沢委員(社)より、先日商工会議所連合会が産炭地商工業者の売掛金の処理に関して決議を行ない、その席上商工部長は要望にそうよう努力すると答弁したように聞いているが、道がやるのはどのようなものか、対策は12月議会に提出するのか

等について質疑及び要望があり、商工部長より答弁。

## 農務委員会

○11月7日 午後1時54分、第3委員会室において開議、  
午後2時33分散会、委員長 天谷平信(自民)

### 一般議事

- ① 石畑副委員長(自民)より、昭和37年産米穀政府買入れ期日の特例措置に関する中央折衝の経過について報告があり、ついで農務部長より、11月5日現在の米穀出荷状況について説明を聴取の後、異議なくこれを了承。
- ② 畜産課長より道内における牛痘の発生状況について説明の後、

笠井委員(社)より、牛乳が販売できない場合、その損害はどの位か、煮沸の上使用するのは差し支えないのか、現在どのような処理の方法をとっているのか、牛痘発生頭数はどのような方法で把握したのか、

荒委員(社)より、牛痘という病名があつて文献がないというのがそのようなものを食品衛生法で規制すること自体がおかしいのではないか、乳房でない外の部分に出た場合牛痘がどうか判定できるのか、食品衛生法等の関係について農林省と打合せをし適正な行政措置をとられたい、

高橋委員(自民)より、これは接触感染かまたは空気感染か、加熱処理の場合はさしつかえないのかどうか等について質疑、意見及び要望があり、畜産課長より答弁。

- ③ 農務部長、畜産課長より、豊富町における製酪施設設置問題について説明を聴取の後、異議なくこれを了承。
- ④ 委員長より、本日の議事はこの程度にとどめ、次回委員会の開会については委員長一任とすることについて諮り、異議なくそのことに決定。

○11月24日 午後1時41分、第3委員会室において開議、  
午後2時散会、委員長 天谷平信(自民)

### 一般議事

- ① 久米委員(自民)より、農業構造改善事業並びにてん菜振興に関する中央折衝の経過について報告があり、異議なく報告を了承、委員長より、本件については引き続き中央折衝を実施することについて諮り、異議なくそのことに決定、派遣委員及び派遣期間等については委員長及び各党理事に一任とすることとした。

- ② 農務部長より、道営競馬予算の専決処分について説明を聴取の後、

岡田委員(社)より、予備費はいくらか、札幌競馬の終了したのはいつか、競馬の終了したときには売上増がわかっているのに予算措置しなかつたことは怠慢でないか、

菅田委員(社)より、今後このようなことのないよう充分注意されたい

こと等について質疑及び意見があり、農務部長、畜産課長より答弁。

- ③ 委員長より、次回委員会の開会については第4回定例会開会の前日を予定し、その取り扱いについては委員長及び各党理事に一任とすることについて諮り、異議なくそのことに決定。

## 建設委員会

○11月5日 午後1時15分、第1委員会室において開議、  
午後1時35分散会、委員長 黒松秀夫(自民)

### 一般議事

- ① 土木部次長より、今次災害における土木事業の査定結果について説明を聴取の後、  
奈良委員(自民)より、37年第3次災害復旧工事申請額集計資料の中に内未とあるのは何か  
について質疑があり、土木部次長より答弁。
- ② 委員長より、請願、陳情は次回委員会において審査することについて諮り、異議なくそのことに決定。
- ③ 委員長より、次回委員会の開会については、正副委員長及び自民、社会両党理事に一任とすることについて諮り、異議なくそのことに決定。

## 農地開拓委員会

○11月7日 午前11時5分、各派交渉室において開議、  
午後3時32分散会、委員長 西島順三(自民)

### 一般議事

- ① 岡山、愛知、秋田各県の干拓地並びに農地開拓事情の調査を実施することについて諮り、異議なくそのこ

とに決定、派遣委員及び派遣時期等については委員長一任とすることとした、午前11時7分、一旦休憩、午後1時37分再開。

- ② 山田委員(社)より、去る10月25日実施した長沼町長都地区の未墾地売渡に関する現地調査の経過について報告があり、異議なく報告を了承。
- ③ 農地開拓部長、農地調整課長より、矢臼別演習場の取得に関する関係町村の意見進達概要について説明を聴取の後、

道下委員(社)より、この問題を駐留軍及び自衛隊施設対策委員会に諮る場合、知事は国からの要請を受け入れて諮ることになると思うが、この諮り方についてどう考えるか、本委員会の意見を聞く必要はないのか、施設対策委に諮るときは知事の意見は表わさないのかどうか、

山田委員(社)より、知事の意見を表わさないのであれば施設対策委に諮問する必要はないと思うがどうか、防衛関係については知事の態度について法に決められているのではないか、施設対策委のメンバーはどうなっているか、

清水委員(社)より、施設対策委に対し、どのような諮り方をするのか、知事のお意は出さないのかどうか、部長はこの地区を演習場にしたいほうがよいのかどうか、施設対策委において部長の考えはどうかと質問されたときはどうするのか、部長の考えはいつ表明するのか等について質疑及び意見があり、農地開拓部長より答弁、午後2時57分一旦休憩、午後3時31分再開。

- ③ 委員長より本日の議事はこの程度にとどめることについて諮り、異議なくそのことに決定。

## 水産委員会

○11月7日 午後零時、第4委員会室において開議、午後1時2分散会、委員長 西野吉一(自民)

### 一般議事

- ① 大島(仁)委員(社)より、漁業等振興法案並びに漁業取締船建造費助成措置等に関する中央折衝の経過について報告があり、異議なく報告を了承。
- ② 水産製品課長より、北洋ニシン輸入問題について説明を聴取の後、  
沖野委員(自民)より漁業会社のストックはないのかについて質疑があり、水産製品課長より答弁。
- ③ 大島(仁)委員(社)より、礼文町長から暴風災害に伴う復旧対策について陳情があつたがこの内容及び漁港被害の復旧態勢はどうなっているのか  
について質疑及び要望があり、水産部長より答弁。
- ④ 沖野委員(自民)より、海区委員が相当退職したのに

感謝状がない、知事として何か考えていないのか、

窪田委員(社)より、漁業労務者に対する失業保険適用問題に関し、農業では受入協議会を作つて実施しているが漁業における受入れはどうなっているか、今後前向きな姿で進められたい、

大島(仁)委員(社)より、留崩におけるなまこ採捕状況及び実績並びにどの程度採捕を許可しているのか等について質疑、意見及び要望があり、水産部長、水産製品課長、漁業調整課長より答弁。

- ⑤ 委員長より、次回委員会は12月5日午前10時より開会することについて諮り、異議なくそのことに決定。

## 文教林務委員会

○11月7日 午後1時42分、第1委員会室において開議、午後3時38分散会、委員長 松尾三良(自民)

### 請願 陳情の審査

#### 請願

第658号 熊駆除対策実施の件 (採択)

#### 陳情

第1107号 道立学校の防火施設の整備の件(保留)

### 一般議事

- ① 千葉(大)委員(社)より、道外の美術館視察経過について報告の後、異議なくこれを了承。
- ② 林務部長より、林務署の防火施設整備状況について教育次長より、道立学校の防火施設整備状況についてそれぞれ説明を聴取の後、

五藤委員(社)より、学校の防火施設整備に関し、災害消防課は道教委に対し、どのような指導をしているか、消防法の罰則適用手続きはどうなっているか、学校が消防署から勧告または摘発を受けた場合どのような措置をとつてきたか、消防法の厳しい規制に対処する方針はどうか、

千葉(大)委員(社)より、防火施設の整備の猶予期限は明年3月31日であるがそれまでに防火施設整備についてどのように市町村に指導していくか、

堀委員(社)より、消防水利管理権者は誰か、消防協会が提出した道立学校防火施設整備の陳情書に関連してその考え方に納得のいかないものがある、消防協会はこのような陳情をする権限があるのか、このような陳情書を提出した経過はどうか、

井野委員(社)より、陳情書に関連して消防署から水利及び施設のどのような面に対し、勧告がなされたのか、その内容について実態調査をされたい

ことについて質疑及び意見があり、災害消防課長、教育次長より答弁。

- ③ 教育次長より、先の委員会で千葉(大)委員(社)より

質疑のあつた暫定手支給問題及び美幌高校焼失問題について説明を聴取した。

- ④ 委員長より、美術館、博物館の道外視察（第2班）について諮り、異議なく配付の日程案のとおり実施することに決定、ついで造林事業費単価引き上げ等に関する中央折衝について諮り、異議なくそのことに決定。（派遣委員は、神部(自民)、斎藤(幹)(自民)、五藤(社)、千葉(大)(社)各委員とし、11月12日から18日まで7日間と決定。）次に道内視察を11月8日から10日まで3日間実施することについて諮り、異議なくそのことに決定。（派遣委員は池田(金)副委員長(自民)千葉(大)(社)五藤(社)深山(自民)井野(社)各委員。）

か、また春出し、秋出しにはどれ位の相違があるか等について質疑、林務部長、造林課長より答弁。

○11月30日 午後1時10分、第1委員会室において開議、午後5時58分休憩、その後再開に至らず流会。

議事に先立ち尾見教育長、武田学校教育課長、新任の吉村学校教育課長より、それぞれ退任就任の挨拶があつた。

#### 一般議事

- ① 井野委員(社)より、空知、胆振両支庁管内の教育林務事情調査に関し、五藤委員(社)より、へき地教育振興、からまつ先枯病伐倒焼却跡地の造林補助等の中央折衝費経過に関し、深山委員(自民)より、道外美術館等の視察経過についてそれぞれ報告があり、

千葉(大)委員(社)より、美術館の問題は視察のみにとどまることなく現地調査の結果を持ち寄つて期成会と協議し、早期実現方を知事に要請する必要がある、今後の作業方針に対する委員長の考え方はどうか、また美術館建設の目途について社会教育施設審議会にどのように答申を求めているか、

井野委員(社)より、三笠高校家庭科教室の未整備に関し、このような状態でどうして教育するのか、予算措置はどうか、

堀委員(社)より、三笠高校における施設不整備は急速に改善する必要がある、また間口増の要請に対してはどのように考えているか、

水島委員(社)より、美術館、博物館、図書館等の新設改増等の運動については、積極的に推進すべきであること等について質疑があり、委員長より応答、教育次長より答弁があつて、異議なく報告を了承。

- ② 井野委員(社)より、からまつ先枯病対策の予算措置方針はどうか、

堀委員(社)より、からまつ先枯病被害に対する指導はどのようにやっているか、6万ヘクタールの伐倒は利用消流に影響はないか、

福島委員(自民)より、道外からの移入苗木に先枯病はないか、民間及び道の苗木について罹患率はどうか、



## 全国都道府県議会議長会

○11月14、15日の両日静岡県において第41回定例会を開催、まず会長のあいさつに引き続き来賓より祝辞が述べられ次いで自治功労者（議員 321名、職員 143名）の表彰を行ない、諸般の報告があつたのち、議事に入り次の事項を協議決定し、関係方面に要望することとした。

なお、本定例会において役員改選の結果、会長に東京都議長、副会長に北海道、山形、神奈川、愛知、大阪、山口、高知、福岡の各道府県議長がそれぞれ選任された。

### 1 決 議

- 1 地方議会議員共済制度の整備改善について
- 2 正副議長の在任に関する申し合せ
- 3 行財政制度の合理化に対する要望について
- 4 地方公務員の給与改定経費の財源措置について
- 5 国庫補助基準の適正化について
- 6 国庫支出金の早期交付について
- 7 直轄事業に対する地方負担額の軽減について
- 8 国庫負担事業の基本額の改定について
- 9 後進地域の開発に関する公共事業に係る国の負担割合の特例に関する法律の一部改正について
- 10 後進地域振興と地域格差是正対策の確立について
- 11 地方債計画上の縁故債について
- 12 地方財源の強化拡充について
- 13 交通の緩和と事故防止対策について
- 14 会計年度の改正等について
- 15 葉たばこ収納価格引き上げならびに災害補償について
- 16 観光事業の振興と観光施設の整備促進について
- 17 青函隧道建設の早期実現方について
- 18 博多、長崎間自動車運送について
- 19 農業構造改善事業について
- 20 農業近代化資金に対する利子補給の増額について
- 21 農業の近代化促進について
- 22 貿易自由化と甘味資源対策について
- 23 園芸振興対策の確立について
- 24 農業協同組合合併推進に対する国庫補助金の増額等について
- 25 国営土地改良事業の地方負担金の軽減と団体営土地

- 改良事業の補助率引き上げ方について
- 27 開拓農業第2次振興計画の早期実施について
- 28 たん水防除事業の強化対策について
- 29 農村労働力の流失防止と技術導入等の促進について
- 30 沿岸漁業振興法の制定について
- 31 水産物の流通改善及び魚価対策の確立について
- 32 第3次漁港整備事業について
- 33 漁業協同組合合併促進法（仮称）の制定について
- 34 国有林野開放のための法的措置について
- 35 公有林野の整備事業拡大について
- 36 治山・林道事業設計監費費の国庫補助率の増額について
- 37 林業振興法の制定について
- 38 高等学校生徒急増対策について
- 39 公立義務教育諸学校の学級編成並びに教職員の標準に関する法律の改正について
- 40 学校給食の完全実施について
- 41 義務教育における教科用図書の無償交付について
- 42 文化財保護について
- 43 青少年不良化防止対策の強化について
- 44 スポーツ振興対策について
- 45 公民館施設設備の充実について
- 46 道路整備5カ年計画の改定について
- 47 治水事業の長期計画の改定について
- 48 海岸保全事業の整備促進について
- 49 住宅金融公庫法による融資の標準建設費の改定について
- 50 国土開発縦貫自動車道東北自動車道の予定路線を定める法律の早期制定等について
- 51 九州縦貫高速自動車道の建設促進について
- 52 日本縦断運河の建設について
- 53 東海北陸地方の交通網の整備強化について
- 54 地方道路整備促進について
- 55 国民健康保険事業運営の健全化と給付の改正について
- 56 環境衛生施設の整備拡充強化について
- 57 国民年金特別融資の運用方針の改正について
- 58 児童行政の刷新強化について
- 59 へき地医療対策強化について
- 60 老人福祉法（仮称）の早期制定について
- 61 部落問題解決の国策樹立について
- 62 社会福祉施設の充実のため国庫補助の増額について
- 63 簡易水道布設に対する国庫補助率の引き上げについて
- 64 成人病対策の強化について
- 65 国立重症精神薄弱児施設の早急設置方について
- 66 国立公園施設整備予算の増額について
- 67 沖縄地域における戦没者の遺骨遺品等の収集整備の

## 促進について

- 68 中小企業基本対策の樹立について
- 69 中小企業信用保険公庫の行なっている業務の改善について
- 70 中小企業団地化資金について
- 71 商工会の経営指導員及び同補助員について
- 72 貿易自由化に伴う非鉄金属工業の危機打開策の早期樹立方について
- 73 工業立地調整法(仮称)の早期立法化方について
- 74 鉱害対策の強化について
- 75 公害防止対策について
- 76 職業訓練行政の拡充強化について
- 77 物価値上げ抑制措置について
- 78 新産業都市の建設促進について
- 79 水資源開発について
- 80 離島航路の育成強化について
- 81 石炭対策について

## 全国都道府県議会離島振興 促進協議会

○11月22日 都道府県会館において総会を開催、会長の開会のあいさつに引き続き全議坂下局長より経過報告、綱島衆議院議員よりあいさつが述べられた。次いで、経済企画庁浅間離島振興課長より「昭和38年度離島振興事業費概算要求額」について、運輸省佐藤定期船課長補佐より「国の離島航路補助問題について」それぞれ説明を聴取したのち、次の事項を協議決定し、関係方面に要望することとした。

なお、今後の運動方法については、中央方面の情勢とも見合つて機宜の処置につき会長一任とした。

- 1 離島航路の改善と補助金の増加について
- 2 離島の医療施設について
- 3 離島の文教関係施設について

## 畜産振興全国大会

○11月28日 東京都において地方6団体及び中央畜産会の共催で本大会を開催、経過報告、来賓祝辞、各団体代表による意見発表等があつたのち、大会宣言を行ない、次いで「畜産振興に関する要望」を決定し、関係方面に強く要望することとした。

## 全国都道府県議会事務局長会

○11月1、2の両日、都道府県会館において開催、自治省佐久間行政局長より「地方行政当面の問題について」と題する講演を聴取、次いで全議、坂下局長より地方公務員共済関係2法律中議員共済会関係規定の主な条項について説明があつた後、次の事項について協議の結果異議なく原案を了承した。

- 1 全国議長会事務局の整備拡充強化案について
- 2 同「資料事務取扱要領」中改正について

## 10都道府県議会事務協議会

○11月27日 広島県において開催、次の事項について協議研究した。

- 1 議会運営に関する事項を所管とする常任委員会の設置について
- 2 議場混乱時における出席議員の確認について
- 3 討論を行なわなかつた場合の議決の不当性について
- 4 投票による表決の際「可」又は「否」と記載された投票の取扱いについて
- 5 招集第1日目に会期を決定せず、翌日会議を開く旨の議決をした場合の取扱いについて
- 6 都道府県議会議員の選挙区及び定数について
- 7 議事日程に記載する案件について
- 8 委員会審査省略事案について
- 9 全国都道府県議会議長会の昭和38年度分分担金の増額について
- 10 昭和38年4月改選に伴う新議員に授与する議員き章の購入並びに交付要領について
- 11 全国都道府県議会議長会表彰者並びに藍綬褒章受賞者に対する処遇について
- 12 議長会定例会における自治功労被表彰者の副賞(独自のもの)について
- 13 昭和38年度議会費の新規事業について

## 北海道東北6県事務連絡協議会

○11月29日 青森県において開催、次の事項について協議研究した。

- 1 連絡協議会の進め方について
- 2 昭和38年度予算編成方針について
- 3 都道府県議会議長諸会議の効率化について
- 4 議員報酬改訂について
- 5 事務局の機構について定数等特に考慮している点

# 資 料

## 第3回定例道議会の議決を経た条例の公布調べ

件 名	議 決 月 日	公 布 月 日 公 布 番 号
北海道恩給条例臨時特例等の一部を改正する条例	10. 24	11. 1 条 例 第 49
北海道立農業講習所条例の一部を改正する条例	10. 24	11. 1 条 例 第 50
公衆浴場法施行条例の一部を改正する条例	10. 24	11. 1 条 例 第 51
北海道災害対策等積立金条例	10. 24	11. 1 条 例 第 52
北海道防災会議条例	10. 24	11. 1 条 例 第 53
北海道災害対策本部条例	10. 24	11. 1 条 例 第 54
北海道固定資産評価審議会条例	10. 24	11. 1 条 例 第 55
北海道農業構造改善審議会条例	10. 24	11. 1 条 例 第 56

昭和37年12月20日確定基本選挙人名簿等登録人員数調

(道選管)

区分	支庁、市	基本選挙人名簿			整理名簿			合計			前年との比較増減	
		男	女	計	男	女	計	男	女	計		
支	石渡後空	狩島山志知	28,200	26,047	54,247	—	—	—	28,200	26,047	54,247	2,070
		65,007	68,646	133,653	—	—	—	65,007	68,646	133,653	732	
		26,456	27,674	54,130	—	—	—	26,456	27,674	54,130	△ 43	
		49,323	53,254	102,587	2	3	5	49,325	53,267	102,592	142	
		71,594	77,036	148,630	—	—	—	71,594	77,036	148,630	△ 957	
	上留宗網胆	川藤谷走振	76,765	79,618	156,383	—	—	—	76,765	79,618	156,383	52
		25,542	26,266	51,808	65	44	109	25,607	26,310	51,917	398	
		19,972	20,207	40,179	2	2	4	19,974	20,209	40,183	△ 257	
		71,287	73,715	145,002	31	38	69	71,318	73,753	145,071	780	
		41,132	42,812	83,944	—	—	—	41,132	42,812	83,944	3,284	
市	日十釧路	高藤路室	31,533	31,697	63,230	36	25	61	31,569	31,722	63,291	△ 350
		62,895	65,020	127,915	49	61	110	62,944	65,081	128,025	624	
		32,547	32,229	64,776	7	6	13	32,554	32,235	64,789	822	
		13,742	13,163	26,905	—	—	—	13,742	13,163	26,905	836	
支庁計		615,995	637,394	1,253,389	192	179	371	616,187	637,573	1,253,760	8,133	
市	札幌小旭室	幌館樽川蘭	198,362	197,134	395,496	—	—	—	198,362	197,134	395,496	23,194
		68,101	80,749	148,850	—	—	—	68,101	80,749	148,850	2,546	
		54,617	61,945	116,562	—	—	—	54,617	61,945	116,562	2,528	
		56,228	59,357	115,595	—	—	—	56,228	59,357	115,595	4,107	
		44,869	44,073	88,942	—	—	—	44,869	44,073	88,942	6,000	
	網留苦稚美	路広見張沢	43,959	44,859	88,818	—	—	—	43,959	44,859	88,818	1,408
		28,984	28,945	57,929	—	—	—	28,984	28,945	57,929	2,813	
		18,684	19,692	38,376	—	—	—	18,684	19,692	38,376	1,645	
		27,148	28,177	55,325	—	—	—	27,148	28,177	55,325	△ 636	
		16,220	17,313	33,533	100	85	185	16,320	17,398	33,718	900	
	芦江赤紋士	走藤牧内唄	11,247	11,881	23,128	—	—	—	11,247	11,881	23,128	443
		10,085	10,619	20,705	—	—	—	10,085	10,619	20,705	678	
		18,194	19,308	37,502	—	—	—	18,194	19,308	37,502	3,422	
		13,611	13,900	27,511	—	—	—	13,611	13,900	27,511	608	
		20,739	22,582	43,321	—	—	—	20,739	22,582	43,321	△ 510	
	名三根千滝	別別平別別	16,109	17,118	33,227	—	—	—	16,109	17,118	33,227	△ 1,598
		11,120	11,208	22,328	—	—	—	11,120	11,208	22,328	1,132	
		13,378	14,173	27,551	—	—	—	13,378	14,173	27,551	△ 570	
		10,518	10,974	21,492	—	—	—	10,518	10,974	21,492	889	
		10,272	10,881	21,153	81	94	175	10,353	10,975	21,328	461	
	砂歌志内	寄笠室巖川	9,943	10,062	20,005	—	—	—	9,943	10,062	20,005	△ 336
		14,371	15,650	30,021	—	—	—	14,371	15,650	30,021	376	
		12,167	12,654	24,821	—	—	—	12,167	12,654	24,821	△ 424	
		15,949	11,289	27,238	—	—	—	15,949	11,289	27,238	829	
		10,227	9,995	20,222	—	—	—	10,227	9,995	20,222	2,048	
川内	8,379	9,030	17,409	—	—	—	8,379	9,030	17,409	787		
9,609	10,074	19,683	—	—	—	9,609	10,074	19,683	△ 12			
市計		773,091	803,652	1,576,743	181	179	360	773,272	803,831	1,577,103	51,728	
合計		1,389,086	1,441,046	2,830,132	373	358	731	1,389,459	1,441,404	2,830,863	59,861	
前年比較	36支所	615,643	629,504	1,245,147	219	261	480	615,862	629,765	1,245,627		
	増減	352	7,890	8,242	△ 27	△ 82	109	325	7,808	8,133		
	36市	750,452	772,377	1,522,829	1,373	1,173	2,546	751,825	773,550	1,525,375		
	増減	22,639	31,275	53,914	△ 1,192	△ 994	△ 2,186	21,447	30,281	51,728		
36合計	1,366,095	1,401,881	2,767,976	1,592	1,434	3,026	1,367,687	1,403,315	2,771,002			
増減	22,991	39,165	62,156	△ 1,219	△ 1,076	△ 2,295	21,772	38,089	59,861			

法令に基づく議会議員定数の郡市別選出基準

北海道

選挙区	昭35. 10. 1 国勢調査人口	議員配当基数	議員定数 (A)	昭30. 10. 1 国勢調査人口	現行議員 配当基数	議員定数 (B)	A-B
石渡 後空	狩島	96,575	1,973	183,291	3,802	4△	2
	山志	239,406	4,893	250,922	5,204	5	
	知	105,010	2,146	104,190	2,161	2	
		190,516	3,896	198,784	4,123	4	
		285,606	5,837	386,500	8,017	8△	2
上留宗 網胆	川萌	295,959	6,049	302,255	6,269	6	
	谷走	98,955	2,022	101,899	2,114	2	
	振	79,792	1,630	83,755	1,737	2	
		273,861	5,597	275,245	5,709	6	
		150,425	3,074	140,021	2,904	3	
日十 鋼根	高勝	123,095	2,516	116,035	2,407	2	
	路室	244,585	4,999	250,511	5,196	5	
		126,337	2,582	120,311	2,495	3△	1
		51,945	1,061	46,645	967	1	
支庁計	2,362,161	48,275	48	2,560,364	53,105	53△	5
札幌 小旭 室	幌館	601,151	12,287	426,620	8,849	9	3
	市市	243,012	4,967	242,582	5,031	5	
小旭 室	市市	198,511	4,057	196,833	4,083	4	
	市市	198,325	4,053	164,971	3,422	3	1
	市市	145,679	2,977	123,533	2,562	3	
釧路 北夕 岩	路広	150,624	3,078	119,536	2,479	2	1
	見張	100,915	2,062	92,442	1,917	2	
	市市	66,932	1,368	59,437	1,233	1	
	市市	107,972	2,206	107,332	2,226	2	
	見沢	60,650	1,239	55,774	1,157	1	
網留 苦稚 美	走萌	44,052	900	42,961	891	1	
	市市	35,818	732	35,797	742	1	
	小牧	62,384	1,275	51,319	1,064	1	
	市市	51,113	1,044	44,751	928	1	
	市市	87,345	1,785	88,667	1,839	2	
芦江 赤紋 士	別平	67,137	1,372	68,091	1,412	1	
	市市	37,396	764	35,185	730	1	
	市市	54,635	1,116	53,656	1,113	1	
	市市	40,281	823	37,388	775	1	
	市市	38,951	796	39,191	813	1	
名三 根千 滝	寄笠	35,859	732	33,339	691	1	
	市市	56,196	1,148	57,519	1,193	1	
	市市	42,740	873	35,799	742	1	
	市市	44,522	910	—	—	—	1
	市市	35,093	717	—	—	—	1
砂歌	川内	31,750	648	—	—	—	1
	市市	38,002	776	—	—	—	1
市計	2,677,045	54,705	55	2,212,723	45,892	46	9
合計	5,039,206	102,980	103	4,773,087	98,997	99	4

注 議員定数103名の場合の議員1人当りの人口は48,924名である。

北海道主要政党役員一覽

(37.12.10現在)

自由民主党		日本社会党		民主社会党	
会長	椎熊三郎	執行委員長	横路篤雄	執行委員長	小平忠
副会長	佐々木秀世	同 副委員長	松浦定義	同 副委員長	堀野豊夫
同 幹事	徳中野恒三	同	平野三郎兵衛	同	津川直一
同 事務	吉岩本里	書記 長	川村清一	同	東 隆
同 政調	麻二瓶山	同 副委員長	岡田義雄	書記 長	向田忠一
同 選挙	中久保和末	同 書記	佐野法幸	同 次 長	鴻上 寛
同 党紀	大堀竹村	同 書記	井口 忍	同 次 長	磯島源吉
同 会 計	堀竹佐々	同 書記	塚田庄平	同 次 長	細川英慶
同 員 會	佐々木野	同 書記	松浦定義	同 次 長	桜井 淳
同 副 會	西林野	同 書記	湯田倉治	同 次 長	戸部卯吉
同 議 會	池山信賢	同 書記	神田清治	同 次 長	椿原 茂
同 副 委 員	高古沢重太郎	同 書記	砂原清治	同 次 長	津川直一
同 幹 事	大沢島部	同 書記	塚本 堯	同 次 長	沢口 清
同 同 同	神岡嶋山	同 書記	坂下和歌子	同 次 長	
同 同 同	深森春久	同 書記	渡辺美作	同 次 長	
同 同 同	石千成	同 書記	藤谷 浩	同 次 長	
同 同 同	中渡新	同 書記	渡辺 光	同 次 長	
同 同 同	阿奈藤	同 書記	菊地 惣	同 次 長	
同 同 同	尾高西	同 書記	渡辺 惣	同 次 長	
同 同 同	池高伊	同 書記	芳賀 貢	同 次 長	
同 同 同	高池高	同 書記	横川 正	同 次 長	
同 同 同	伊藤奥	同 書記	松浦定義	同 次 長	
同 同 同	池原久	同 書記	平野三郎兵衛	同 次 長	
同 同 同	岩	同 書記	道下美作	同 次 長	
同 同 同		同 書記	堀 重	同 次 長	
同 同 同		同 書記	中野与作	同 次 長	
同 同 同		同 書記	大石利雄	同 次 長	
同 同 同		同 書記	波部 英	同 次 長	
同 同 同		同 書記	遠山 勤	同 次 長	
同 同 同		同 書記	大島 仁三郎	同 次 長	

## 11月のメモ

- 1 ○1962年ノーベル物理学賞、化学賞の受賞者きまる、物理学賞レフ、ダビドビツチランタウ(ソ連)、化学賞ジョン、C. ケンドルとマックス、F. ベルツの両氏(英)。  
○大蔵省、日銀、10月の輸出入信用状収支を発表、1億6,000万ドルの黒字。  
○政府、自民党、消費者米価12%値上げの基本方針をきめる、10キロ956円(105円アップ)12月1日から実施。  
○土幌村、日高村に町制施行(27市、144町、53村)
- 2 ○閣議、今後の経済政策運営に対する基本方針をきめる、公共投資に最重点、弾力的な金融措置をとる。  
○農林省、本年産米の予想収穫量を発表、1,309万1,000トン。
- 3 ○文化勲章授賞式行なわれる、受賞者梅沢浜夫氏ら5氏。
- 4 ○池田首相訪欧へ向う。  
○自治省、地方開発事業団設置要綱案をまとめる、対象は新産業都市指定地、宅地造成など実施。
- 5 ○皇太子ご夫婦、フィリピン親善訪問旅行に出発。  
○文部省、教育白書「日本の成長と経済」を発表、31年以降頭打ちの教育費、高等教育の拡充が必要。
- 6 ○国連政治委、核停37カ国案を可決、来年1月までにすべての実験中止。  
○社会党道連大会終る、知事候補に荒氏を指名、新委員長に横路節雄氏、書記長に川村清一氏を選出。
- 7 ○米中間選挙、民主党の勝利に終る、両院過半数をしめる。  
○自治省、地方財政の現況をまとめる、公共投資遅れ目立つ、公務員制の検討を示唆。
- 8 ○日独共同コミュニケ発表、貿易は無差別原則、核停、軍縮協定成立に努力。
- 9 ○日中貿易交渉まとまる、5年で5億ドル目標。  
○ILO理事会、87号条約批准で勧告。  
○道本年度上半期(1~6月)の道内勤労者の家計調査結果をまとめる、実収前年同期に比べ6.2%ふえる。
- 10 ○日中貿易交渉覚え書に調印、年間362億円、延べ払いは別に協議。  
○日仏両国、訪仏、池田首相の公式日程終了に対し共同コミュニケを発表、新通商条約交渉で合意。  
○建設省、住宅地開発法案をまとめる、土地収用権を適用。  
○訪比の皇太子ご夫妻帰国。  
○総評、賃金白書を発表、低すぎる労働分配率、数年中に倍額獲得へ。
- 12 ○教育職員養成審議会、教員養成制度の改善で文相に建議、免許制度を改める、教育課程、国が基準を決定。
- 13 ○結核予防審議会、結核医療の改正で答申、公費の範囲拡大、受療中絶に予防措置を。  
○文部省、36年学校保健統計報告書をまとめる。  
○道議会石炭対策特別委員会、石炭問題懇談会を開く。  
○町村知事、明春の道知事選挙に再出馬を正式表明。  
○道生活文化賞受賞者きまる、個人倉部勇太郎(浅海増殖と一元集荷)、団体杵臼自治会(乳牛導入)、富浦町会(少年の非行化防止)。
- 14 ○日英通商航海条約調印、35条の撤回を確認、期間6年、来夏までに発効。  
○臨時義務教育教科用図書無償制度調査会、教科書無償で答申、全額を国庫負担、全児童を対象に明年度から。
- 15 ○国立大学協会総会開く、文相に拒否権なし。  
○道連合海区漁業調整委員会、漁業調整規則改正案を了承。
- 16 ○日中貿易協議会が発足、会長に高崎氏。  
○大蔵省、税制調査会席上で、明年度予算2兆8,000億円表明。  
○道教育功績者表彰。  
○道農協中央会、道水産会、日ソ協会脱退を申し入れる。
- 17 ○農林省、特選米価格決定、10キロ当たり1,005円。  
○漁村パイロット集落振興4カ年計画まとまる、生産45%ふやす、7億8,000万円余を投入。
- 18 ○川崎沖でタンカー衝突、一方はノルウェー船、5人死に32人絶望。  
○自治省、地方自治法改正案準備、議会の議決事項を整備。
- 19 ○仏総選挙、ドゴール派圧勝。
- 20 ○日、伊共同声明を発表、通商拡大を図る。  
○道防災会議、12月3日発足を決定。  
○道漁民同盟、抑留漁民の差入れ品制限緩和を要求。  
○道、36年度決算を発表、歳入944億、歳出905億、健全財政を維持。
- 21 ○米、キューバ海上封鎖を解除。
- 22 ○日米財界人会議で共同声明、対共産貿易は危険。  
○開発庁、新産業都市に道央、道東を答申。  
○荒氏、知事選出馬を表明。
- 23 ○中国、中印紛争で停戦を正式発表。
- 24 ○厚生省、老人福祉法案大綱をまとめる、対象65才以上が有力。
- 25 ○池田首相、訪欧から帰る。
- 26 ○仏総選挙、ドゴール派大勝(単独過半数獲得)。

- 27 ○社会党大会開く、江田書記長批判決議を可決、江田氏辞意を表明。  
○日本芸術院、小津安二郎氏ら11人の新会員を内定。  
○日銀、公定歩合を1厘引き下げる。  
○道人事委、道職員給与改定を勧告、平均8.1%、初任給に配慮。
- 28 ○自治省、都道府県議会議員の報酬基準を知事に通知  
府県の部長級俸給の中間が適当。  
○税調小委、明年度減税で中間報告、大勢は所得税中心、予約米の特例認めず。
- 29 ○閣議、石炭対策大綱及び炭鉱業緊急金融対策を正式に決定、補正予算31億組む。  
○閣議補正予算案を決定、総額541億円。  
○社会党大会、委員長に河上丈太郎氏、書記長に成田知己氏を選出、江田氏は組織局長に。
- 30 ○国連安保理事会、ウ・タント事務総長を選出。  
○道教育長に二本木氏内定、尾見教育長は公立学校共済組合常任理事に転出さる。  
○道教委、市町村立高校の道立移管計画と高校急増計画の修正を発表。

昭和37年12月20日発行

北海道議会時報 (第14卷)  
(第12号)

編集 北海道議会事務局調査課

発行 北海道議会事務局

